

～一人ひとりを真ん中に、^{えにし}縁がつどうあったかなまち～

那珂市の



No.112 令和3年
3月12日発行

那 珂 市 社 会 福 祉 協 議 会



「ふれあい給食サービスの利用者さんにお届けしました」詳しくは8ページをご覧ください

目次

特集 コロナ禍だからこそ求められる活動とは?.....	2
セブン-イレブン・ジャパン様から食料品や日用品の 寄贈を受けました	3
令和2年度赤い羽根共同募金実績報告	4
共同募金特別助成「新型コロナウイルス子どもと 家庭支援事業」を実施しました	4
市と「災害ボランティアセンターの設置等に関する 協定」等を締結しました	5

誰もが暮らしやすい地域づくりの指針に ～第4次那珂市地域福祉活動計画を策定しています～ ..	5
生活にお困りのかた、不安や心配があるかたの ご相談をお受けします	5
社協インフォメーション.....	6
善意銀行からのご報告	7
みなさんは「障がい者の福祉マーク」いくつ知っていますか? ..	7
ふれあい・いきいきサロンを支える活動.....	8
きずなBOX～食品寄付を通じた支援の輪、広がっています～ ..	8

特集 コロナ禍だからこそ求められる活動とは？

新型コロナウイルス感染症によって、私たちの生活は大きな影響を受けています。

「旅行に自由に出かけられない」「地域や学校でのイベントがなくなってしまった」など、これまであたりまえのようにできていたことができない生活を強いられています。

今回、特に影響を受けやすい「ひとり暮らし高齢者」をクローズアップし、置かれている状況と求められる活動について考えてみたいと思います。

◆移動が制限されることで生まれた新たな課題

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県外はもとより県内でも移動が制限されています。それによって、ひとり暮らし高齢者にとっては、これまで毎週買い物や外出のために来訪していた家族が、家に来ることを控えざるを得ない状況になっています。

買い物などは、生協などを利用すればなんとかなりますが、どうしても顔を合わせて体調などの安否確認が難しくなります。

◆余暇活動などが制限されることで生まれた新たな課題

活動が制限されることで、これまで余暇活動として行えてきたおしゃべりの時間や趣味の集まり、旅行などが制限され、一人で過ごす時間が増え家にこもりがちな状況が多くなっています。

◆介護サービスなどで生じた新たな制限

新型コロナウイルスに感染することが不安で、人の集まるデイサービスをお休みするかたや、他県に住む親族の訪問があったため、念のため利用を遠慮してもらうことで、予定していた入浴やリハビリができないことがあります。

以上のように、生活にかなりの制約を受けることで、不安な暮らしを送らざるを得ない状況になっています。そうした不安を解消するために、身近なところで行われている2つの事例をご紹介します。



あん・しん・ねっと事業

コロナ禍の暮らしにおいても「ゆるやかなみまもり」活動は続いています

あん・しん・ねっと事業では、普段の生活でみまもりが必要なかたの、ご近所のかたやお友達を「地域支援者」としてご登録いただいています。ふだんからお付き合いのあるかたが地域支援者になることで、変化に気づいた時にはすぐご連絡をいただけるようお願いしています。

新型コロナウイルスによって、離れて暮らすご家族が訪問することが難しくなっている状況が多く見られます。このような中、ご近所のかたやお友達など普段からお付き合いのあるかたが、みまもることで、小さな変化にも気づくことにつながり、みまもりを必要とするかたの暮らしの「あんしん」になっています。



ふれあい電話

離れていても、ココロの距離はすぐそばに
～コロナ禍だからこそ、ふれあい電話ボランティア活動中！～

◆直接会ってお話する機会が減っている今だからこそ

那珂市では以前から、お話の機会が減りがちなひとり暮らし高齢者などを対象として、ボランティアさんが電話をかけて、身近なお話相手となる「ふれあい電話」が行われています。

ふれあい電話では、新型コロナウイルスの影響で人と直接お話する機会が減っている今だからこそ、対面でなく電話でお話することが最大の強みになっています。そのおかげで、新型コロナウイルスの話題で気持ちが沈みがちな利用者さんのお話相手となり、気持ちのリフレッシュや悩みごとの相談に役立っています。ボランティアさんたちは「ウイルスが各地で蔓延する中で、利用者さんがいつもどおり電話に出てくれると安心する」とおっしゃっています。



◆利用者さんからはおしゃべりを待ち望む声

利用者さんからは、「他愛のない話をするだけで、気持ちがすっきりする」「こんな時期なので、誰かとお話することができてうれしい」など、次の電話を待つ声が多く聞かれます。感染を気にすることなくお話できるのは電話だからこそなのだと思います。

おしゃべりを待ち望んでくれる相手がいるということは、ボランティアさんにとっても楽しみとなり、コロナ禍により対面でのおしゃべりができない今だからこそ、お互いの「ココロがほっとする」活動ができるのだと思います。

【ふれあい電話を利用したいときは】

ふれあい電話は、おおむね65歳以上の高齢者や障がいのあるかたに無料でご利用いただけます。ご利用希望のかたは那珂市社協までお問い合わせください。

ご紹介した事例のほかにも、身近なことで取り組めることはまだまだあるかと思っています。

「もし自分が同じ立場だったら」どんなことを不安に思い、どうすれば少しでも安心できるのか、身の回りに気を配り、できることから始めてみませんか？

何かできることに協力したいなどございましたら、企業・個人は問いませんので、お気軽にご相談ください。

◆問い合わせ 総務・地域福祉グループ 229-0309

～企業による地域貢献活動のご紹介～

セブン-イレブン・ジャパン様から食料品や日用品の寄贈を受けました



令和2年11月26日、セブン・イレブン・ジャパン様から食料品や日用品の寄贈を受けました。この取り組みは、「社会福祉貢献活動に係る寄贈品に関する協定」により、茨城県社会福祉協議会を通じて寄贈いただいたものです。

寄贈いただいた品々は、主に「ひとり暮らし高齢者ふれあい給食サービス」「ひとり暮らし高齢者のふれあい電話」の対象者に配布させていただきました。また、

那珂市社協の各種相談支援事業の中で、必要に応じて生活に困窮するかたなどへの支援に活用していきます。



令和2年度 赤い羽根共同募金実績報告

令和2年度の赤い羽根共同募金運動においては、戸別募金をはじめ学校募金、職域募金（福祉施設、市内企業）など多くのかたがたから多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。

おかげをもちまして8,946,603円の募金が集まりました。

お寄せいただきました募金は、福祉事業の重要な財源として、那珂市内で行う地域福祉活動に、また茨城県内の福祉施設、団体などの福祉事業推進のために役立てさせていただきます。

令和2年度 赤い羽根共同募金実績一覧

地区名	一般募金 (円)	歳末たすけあい募金 (円)	合計金額 (円)
神 崎	461,600	346,500	808,100
額 田	348,600	261,700	610,300
菅 谷	1,367,000	1,072,000	2,439,000
五 台	812,200	604,600	1,416,800
戸 多	210,800	158,100	368,900
芳 野	445,000	334,000	779,000
木 崎	265,700	200,900	466,600
瓜 連	879,600	662,700	1,542,300
地区別募金計	4,790,500	3,640,500	8,431,000
学校募金・職域募金 利息など	503,097	12,506	515,603
総 合 計	5,293,597	3,653,006	8,946,603

学校・職域・企業募金、募金箱の設置にご協力をいただきありがとうございました（敬称略・順不同）

（福）ナザレ園、（福）慈川会チルドレンズ・ホーム、（福）実誠会障害者支援施設なるみ園、横堀小学校、額田小学校、菅谷小学校、菅谷東小学校、菅谷西小学校、五台小学校、芳野小学校、木崎小学校、瓜連小学校、那珂第一中学校、那珂第二中学校、那珂第三中学校、那珂第四中学校、瓜連中学校、那珂市役所各課室、那珂市連合民生委員・児童委員協議会、那珂市消防本部、（公社）那珂市シルバー人材センター、那珂市商工会、（国研）量子科学技術研究開発機構核融合エネルギー研究開発部門那珂核融合研究所、（株）ソニー・ミュージックソリューションズ、森松工業（株）関東工場、（株）東海ゴルフ、静ヒルズカントリークラブ、ウエルシア那珂竹ノ内店、ウエルシア那珂瓜連店、JA 常陸那珂直売所、ツルハドラッグ那珂竹ノ内店、（有）大和田新聞販売、直売所とんがりはっと、イオン那珂町店、マルト SC 那珂店、かわねや菅谷店



共同募金特別助成

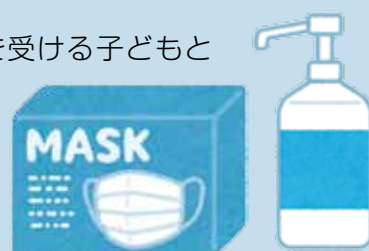
「新型コロナウイルス子どもと家庭支援事業」を実施しました

12月に茨城県共同募金会の特別助成を受け「新型コロナウイルス子どもと家庭支援事業」を実施しました。

この助成は、今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、影響を受ける子どもと家庭に対する支援に活用することが目的となっています。

那珂市社協では、子ども用のマスクや手指消毒用のアルコール消毒液を購入して、対象となる世帯に配布しました。

このように共同募金は、社会情勢に合わせてさまざまな場面で役立てられています。



市と「災害ボランティアセンターの設置等に関する協定」等を締結しました

令和3年1月20日、那珂市と那珂市社協の間で「災害ボランティアセンターの設置等に関する協定」ほか、災害時の介助員派遣や福祉車両借上げに関して3件の協定を締結しました。この協定によって、今後の災害ボランティアセンター設置について、市との間で費用や資機材の確保が明確となり、災害時のボランティア活動がより円滑に行えるようになりました。

那珂市社協では災害に対する備えのため、今後も災害時ボランティア研修等を継続的に開催していきますので、みなさまのご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。



◆問い合わせ 総務・地域福祉グループ 229-0309

誰もが暮らしやすい地域づくりの指針に

～第4次那珂市地域福祉活動計画を策定しています～

現在、令和4年度から令和8年度を計画期間とする「第4次那珂市地域福祉活動計画」を策定しています。地域福祉活動計画とは、地域住民をはじめ、福祉関係団体、行政などとの協働により策定する「地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動の計画」です。第4次計画は、第3次計画を基礎としながらも、より多くのかたに活動に参加していただき、理解者を増やしていく必要があると思われます。そのために、今後どのような取り組みが必要か、議論を進めていきたいと思えます。

第3次那珂市地域福祉活動計画はホームページでご覧いただけます
<http://www.naka-shakyo.net>



◆問い合わせ 特定事業推進室 229-0309

生活が苦しい 家賃が払えない 仕事が見つからない

生活にお困りのかた、不安や心配があるかたのご相談をお受けします

生活

〔相談例〕

失業や給与の減収で光熱水費が払えない、食べ物にも困っている

秘密厳守

相談無料

匿名可

住まい

家賃が払えず滞納。退去を迫られないか心配だ

持病があって、できる仕事なかなか見つからない

仕事

しばらく仕事をしていない、就職が不安・・・



一人ひとりの状況に応じて、解決へのお手伝いをします

那珂市自立相談サポートセンター 月～金 8:30～17:15
 那珂市社会福祉協議会 菅谷分室 電話 298-8881

社協インフォメーション *information*

ふくし相談センター

ご本人やご家族、地域などのことで「どこに相談したらよいのかわからない」と思ったら、お気軽にご相談ください。専門の相談員と一緒に考えながら、解決へのお手伝いをします。

- 場 所 市総合保健福祉センターひだまり 菅谷分室
- 受付時間 午前8時30分から午後5時15分
- 受付方法 電話、FAX、面談（訪問も可）、メール
- 問い合わせ 社会福祉協議会 菅谷分室 298-8881 FAX 298-8890
E-mail f-soudan@naka-shakyo.net

◆「ふくし相談センター」は、包括的支援体制整備事業・自立相談サポートセンター・障害者虐待防止センター・障がい者差別解消相談室等の複数の窓口を統合して運営しています。

障がい者の暮らしの相談 障がい者の日常生活の相談に応じます（要予約）※1

家族関係・人間関係の悩み、生活の工夫、困りごとに、相談員（障がい当事者及び当事者の親）が、相談に応じます。

- 問い合わせ 障がい・介護支援グループ 229-0309 FAX 296-1002

あがっぺほっとサロン※2

こどもの不登校やひきこもりで悩むご家族が、悩みを置いていける場所『あがっぺほっとサロン』「ずっと仕事をしていない（学校へ行っていない）」「家からほとんど出ない」など、同じ悩みや子育て経験があるかた同士でちょっと話してみませんか。（聞くだけでもOKです）

- 日 時 原則毎月第2火曜日 午前10時30分から午後0時 途中入退室可
- 場 所 瓜連駅から徒歩1分のカフェ 駐車場有
- 参加方法 申込不要 参加費無料 飲み物代ひとり200円～
- 問い合わせ 社会福祉協議会 菅谷分室 298-8881



那珂市おもちゃ病院 大切なおもちゃを直します※3

那珂市おもちゃ病院では、ボランティア活動としてお子様のおもちゃを無料で修理しています。修理の受付は活動日のみです。（※ゲーム機やアンティークおもちゃなど修理を受付できないものがあります）

- 活動予定日 4月8日・22日、5月13日・27日、6月10日・24日
（午後1時30分から午後3時30分）
- 会 場 市総合保健福祉センターひだまり
- 問い合わせ 総務・地域福祉グループ 229-0309



※1・2・3については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になる可能性があります。お手数でも事前にお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。

公益社団法人 那珂市シルバー人材センター

植木剪定、草刈り、草取り、障子・襖の張替えなどお気軽にご相談ください。

シルバー会員募集中

- 那珂市菅谷3198
- 営業時間/8:30~17:15
- 定休日/土曜・日曜・祝日
- TEL: 029-295-5741
- E-mail: naka@sjc.ne.jp
- FAX: 029-295-5553



那珂市地域活動支援センター利用者募集

障がいがあるかたの自立や社会生活への参加を促すため、散歩やヨガ、パソコン学習などのプログラムを通して支援を行っています。生活リズムを整えたい、外に出る機会を増やしたいかたはお問い合わせください。

- ※随時見学・体験、送迎有（有料）
- 提供時間 午前9:00~午後4:00（月~金）
- 場 所 市総合保健福祉センターひだまり内
- 問い合わせ 社会福祉協議会 菅谷分室 298-8881

善意銀行からのご報告

令和2年11月18日から令和3年2月12日現在

みなさまの善意に感謝します。

■ 善意銀行とは…

みなさまからお預かりしたあたたかいお気持ち(お金や物品)を
社会福祉のために活用させていただくための窓口です。

現金

預託者 (敬称略)	金額 (円)
預託者 () は指定先、それ以外は那珂市社会福祉協議会	
切手テレカボランティアポピー	26,440 円
匿名	30,000 円
水戸友の会	3,000 円
匿名	2,949 円
ぴっぴお話の会 南波久代	4,897 円
菅谷第二高砂会	2,556 円
生長の家 白鳩会	2,154 円
野木利三郎	30,000 円
匿名	12,250 円
匿名	2,315 円
●令和2年7月豪雨災害義援金 (共同募金会指定) ※受付期間 令和3年3月31日まで	
匿名	30,000 円
那珂市社協設置募金箱分	8,568 円

物品

- 書き損じハガキ・切手・テレカ
(届け先 切手・テレカボランティアポピー)
櫻村満久 (株)ソニー・ミュージックソリューションズ
茂手木みつ代 菅谷第二高砂会 ゆたか保育園
セブン-イレブン那珂後台店 (株)千本杉 菊地美代子
(国研)量子科学技術研究開発機構核融合エネルギー研究開発部門
那珂核融合研究所 匿名 8件
- おしりふき布 (届け先 市内施設・利用者等)
野木利三郎 匿名 2件
- タオル・ぞうきん等 (届け先 市内施設)
野木利三郎 茨城県退職公務員連盟那珂支部 美容室まゆみ
菅原久美子 匿名 5件
- 車いす (2台)
水戸ヤクルト販売(株)



水戸ヤクルト販売(株)様から
車いすを寄贈いただきました。

那珂市社協は、所得税額から一定の金額を控除できる税額控除対象法人です。社会福祉協議会に寄付された個人のかたは、税制上の優遇措置が受けられます。

みなさんは「障がい者の福祉マーク」いくつ知っていますか？

那珂市障がい者差別解消支援地域協議会では、障がいのあるかたの生活のしづらさや生きづらさを知ることで障がい者を理解し、障がい者に対する差別のない社会を目指し、『障がい者の福祉マーク』の福祉教材を作成しました。市内小中学校に配布し、総合的な学習の時間や福祉の授業などで活用していただいております。

『障がい者の福祉マーク』をみかけたら、思いやりのある行動のご協力をお願いいたします。

<p>【ヘルプマーク】</p> <p>義足や人工関節、難病や妊娠などで周囲の方に配慮が必要であることを知らせるマークです。</p>	<p>【身体障害者標識】 【身体障害者マーク】</p> <p>肢体不自由者(身体が動かしづらい人)が運転している車であることを表すマークです。</p>	<p>【聴覚障害者標識】 【聴覚障害者マーク】</p> <p>聴覚障がい者(耳が聞こえにくい人)が運転している車であることを表すマークです。</p>
--	---	--

【作成した福祉教材は、那珂市社協ホームページからダウンロードすることができます】
<http://www.naka-shakyo.net>

問い合わせ
菅谷分室 298-8881

「那珂市のふくし」の一部には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

ご近所の活動拝見

～あったかはおとをみんなの手で～

第59回 ふれあい・いきいきサロンを支える活動 『那珂市シルバーリハビリ体操指導士会』

那珂市にある47カ所の高齢者サロンのうち、33カ所のサロンがシルバーリハビリ体操教室を活動の中心にしています。それを支えるのが「那珂市シルバーリハビリ体操指導士会」のみなさんです。昨年度はサロンだけでも645回の教室を開き、延べ6,839人の会員が参加するなど、那珂市の介護予防にとって不可欠な存在です。今回は会長の宇留野さんにお話を伺いました。宇留野さんは、「指導士も高齢者が多く、教室があることでお互いに生活に張りが出ています。特に、教室が終わった後に“身体が楽になったよ”と喜んでもらえることが一番嬉しいです」とやりがいについて話してくださいました。



宇留野会長

また、指導士会では月替わりで定例会と勉強会を開催して、常に技術向上に努めておられます。「全員が同じ指導をできることが大切なので、定期的に指導方法を見直し合っています。また、指導士どうしの交流の場でもありますので、それぞれの教室で上手くいったことや悩みなどを共有し、みんなが楽しく活動できる環境づくりをしています」と話してくださいました。

最後に、宇留野さんはサロン会員に向けて、「状況が落ち着けばいつでも再開できるように、健康プラザ・市役所・社協などと情報共有しながら準備を進めています。会員さんにはご自宅でも体操を続けていただき、また教室で元気な姿が見られることを願っています」と話してくださいました。

● ふれあい・いきいきサロンに興味・関心のあるかた、「やってみようかな」とお思いのかた、那珂市社協までご連絡ください。

きずなBOX～食品寄付を通じた支援の輪、広がっています～

きずなBOXは、ご家庭にある食品をどなたでも寄付することのできる食品収集箱です。市内3カ所（社会福祉協議会事務所、市総合保健福祉センターひだまり、市役所総合案内前）に設置されているきずなBOXには、今年度も1,000kgを超える食品が集まりました。これらの食品は、生活困窮世帯の自立支援の一環として活用されるほか、県内福祉施設の食の支援としても役立てられます。



◆きずなBOXへの食品寄付をお願いします◆

コロナ禍における生活困窮世帯の増加などによって、食品寄付の需要は高まっています。

ご自宅に未開封の食品はありませんか？常温保存可能で賞味期限が2か月以上ある食品をお預かりします。（お米など一部の食品は状態を確認させていただく場合もあります）

	編集委員	
委員	委員長	吉野 四郎
副委員長	大和田 祝子	大和田 祝子
小澤 祐一	小澤 祐一	小澤 祐一

表紙の紹介
 セブンイレブンのパンから、1月13日にふれあい給食サービスの利用者等にお届けしました。いろいろななかたの思いが、届けたもみな笑顔になりました。

■きずなBOX設置場所■

- ・那珂市社会福祉協議会事務局（市役所瓜連支所分庁舎内）
- ・市総合保健福祉センターひだまりロビー
- ・那珂市役所 総合案内前

■問い合わせ 総務・地域福祉グループ

229-0309



きずなBOX（食品収集箱）